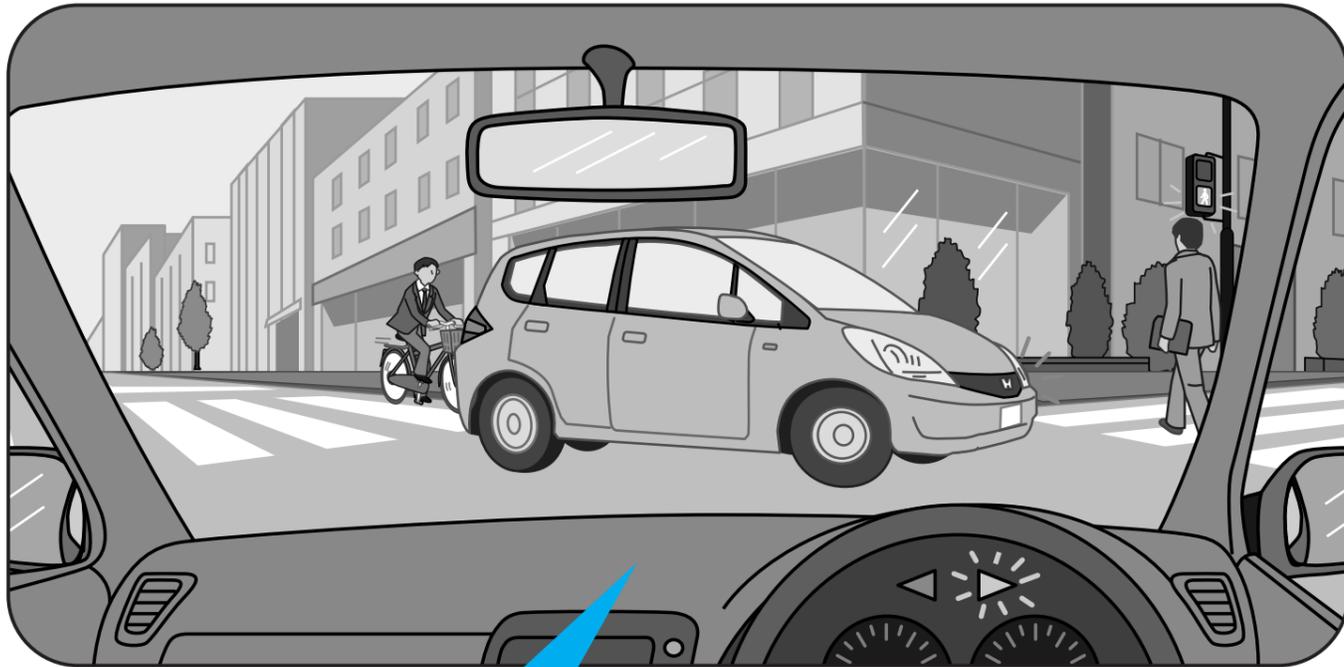


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第30回 対向左折車に続いて右折する(四輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、対向する左折車に続いて右折する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくりまします。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは、交差点を右折しようとしています。対向する左折車は横断歩道に歩行者がいるため停止しています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 11

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



岐阜市・交通指導員の皆さん
写真後列左から、進藤伊佐夫さん、廣瀬恭子さん、加納千恵さん、坂井佐世子さん
写真前列左から、海堀聡子さん、藤田清美さん、後藤久美子さん、林ゆかりさん

道路を歩く時は大人と手をつなぐことを強調

岐阜市は岐阜県の県庁所在地で、約42万人が暮らす都市である。同市では、8名の交通指導員の皆さんが幼児とその保護者、小学生、高齢者等を対象に交通安全教育や、毎月の街頭啓発活動を行っている。

その中で最も多く開催しているのは、幼児向けの交通安全教室だ。市内にある約80カ所の幼稚園・保育所で、年に各3回実施している。1学期は安全な道の歩き方について。2学期は道の渡り方や信号の約束、止まることの大切さを伝え、歩行実技として園庭などで実践してもらう。3学期はこれまでの復習、また、小学校入学を控える幼児には通学路の確認と安全な登下校の仕方を指導している。

指導する際、重視していることについて、交通指導員の後藤久美子さんは「交通安全教室などでは『止まる』ことの重要性を多くの方々に知ってほしいと考え、指導に取り組んでいます。幼児に関しては、原則的には道路を一人歩きできませんから、岐阜市では『道路を歩く時は必ず大人と手をつなぐ』ということも親子に強調

しています」と話す。また、坂井佐世子さんは「交通安全の知識は知っていても、実際の交通場面でできなければ意味がありません。安全行動が身につくように、様々な教材を駆使し、繰り返し継続的に指導しています」という。

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

★「ウサギとカメ」の昔話をモチーフにした教材



山のふもとまで競争することにしたウサギとカメ。ウサギは勝つことだけを考え、道路の真ん中を走ったり、安全確認をせずに交差点を通り抜けた。後から追いつけるカメは、受講する幼児に「道路のどこを歩けばいいか」「道路を横断する時には何をすべきか」などを問いかけ、ゆっくりだがルールに従ってゴールをめざす。この教材は3学期に1年間の復習をする際に使用するという。



信号の約束は「赤信号は、止まる!」「青信号は、よく見てわたる!手を上げて!」「チカチカ信号(青点滅)は、止まる!」と子どもたちに声に出してもらおう。



★幼児が参加できるゲームを取り入れた教材

「ウサギとカメ」同様、3学期に使用する教材「ここにこぼなし」。ウサギがお母さんと一緒に買い物に行くという話の中で交通ルールを復習する。買い物が終わると、おじいさんがクルマで迎えに来るという設定で、チャイルドシートの重要性などを伝えている。途中、幼児には登場するキャラクターやものの中に隠れている「ここにこ」の文字を探してもらう。

★道路の横断時の安全行動を伝える教材

道路横断時の「止まる」「右、左、右を確認する」「手を上げる」を伝えるための高さ135cmの人形



SJクイズ ?

Q1 平成23年の交通事故件数を道路形状別・地形別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう?
①市街地の単路 ②市街地の交差点
③非市街地の単路 ④非市街地の交差点

Q2 平成23年の交通死亡事故件数を事故類型別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう?
①人対車両事故の横断中
②車両相互事故の出会い頭衝突
③車両相互事故の正面衝突
④車両単独事故の工作物衝突

Q3 平成23年の75歳以上の免許保有者数は10年前(平成13年)の2.43倍になっていますが、75歳以上の高齢運転者による交通事故件数は10年前と比べ何倍となっているでしょう?
①約1.5倍 ②約2倍
③約2.5倍 ④約3倍



※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)